

モニタリング結果報告書

施設名 : 津久井湖城山公園
指定管理者 : (公財) 神奈川県公園協会
施設所管課 (事務所名) : 厚木土木事務所 津久井治水センター

(平成23年度 上半期)

管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況 (1～9の結果を踏まえ、判定してください)

B

- A : 提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
B : 提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
C : 提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
D : 提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考 (確認事項等)
4月	5月10日	5月17日	月報・現地確認等で適切に業務が行われていることを確認した。
5月	6月10日	6月20日	月報・現地確認等で適切に業務が行われていることを確認した。
6月	7月11日	7月19日	月報・現地確認等で適切に業務が行われていることを確認した。
7月	8月10日	8月16日	月報・現地確認等で適切に業務が行われていることを確認した。
8月	9月12日	9月21日	月報・現地確認等で適切に業務が行われていることを確認した。
9月	10月11日	10月18日	月報・現地確認等で適切に業務が行われていることを確認した。

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

「歴史と自然資源を活かし、地域の誇りを育む公園づくり」を総合的な管理運営方針に掲げ、実現に向け、具体的な事業を提案した。

- ① 季節に合わせた事業として「桜ライトアップ」や「ルピナスまつり」を実施し、花の苑地や水の苑地における利用増と地域振興を図る。
- ② 地域振興としての取組みを進めるため、花の苑地において「つくい逸店市」事業を定期的に行い利用増を図る。
- ③ 地域の元気に向けての新たな取り組みとして、地元の方やボランティア団体との協働により、地域振興、子育て支援等につながる事業を吟味、調整のうえ実施。

<実施状況>

- ① 「桜のライトアップ」については、震災の影響で中止となったが、ルピナスまつりは、昨年度以上に城山観光協会との連携を強化して開催し好評を博した。
- ② 昨年度に引き続き、「つくい逸店昼市」事業を実施。
- ③ 地元の方の会に協力を仰ぎ、地域文化を来園者に紹介する「ふるさと知らせ隊」で酒まんじゅう作りを実施し好評を得た。地域の子育て支援も「みんなおいでよ！公園であそぼ！」を開催して地域との連携を深めている。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額	129,900	129,900	0	0	129,900	0
今期	128,000	128,000	0	0	128,000	0
前期						
上半期予算額	67,468	67,468	0	0	67,465	3
4月	10,439	10,439	0	0	8,489	1,950
5月	10,132	10,132	0	0	8,309	1,823
6月	12,971	12,971	0	0	12,432	539
7月	11,129	11,129	0	0	11,215	△ 86
8月	11,054	11,054	0	0	8,623	2,431
9月	11,743	11,743	0	0	8,483	3,260
今年度半期計	67,468	67,468	0	0	57,551	9,917
前年度同期計	64,015	64,015	0	0	65,741	△ 1,726

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
 ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
 ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

- ①該当なし
 ②震災による影響で、イベントの中止や規模縮小、節電による光熱水費の縮減や、専門主任(自然系)が1名が8月末で退職したことで、収支がプラスになった。専門主任の後任を10月より1名補充。
 ③該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状態をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	441,000円	緑区根小屋地内：登山道補修工（441,000円）
下半期		
総額		

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
4月	61,087人	91,024人	△32.9%
5月	48,688人	55,721人	△12.6%
6月	40,516人	35,349人	14.6%
7月	36,410人	28,532人	27.6%
8月	36,396人	27,277人	33.4%
9月	37,511人	28,450人	31.8%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	なし	260,608人	266,353人		△2.2%
今年度下半期計					

利用状況に関する意見等

①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）
 ②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。
 なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>
 ①②該当なし

5 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
5月	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
6月	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
7月	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
8月	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
9月	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
合計	9 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (0)

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。）

分野	概要	対応状況
施設・設備	・噴水施設の稼働時間についてわかるようにしてほしい。	清掃等で停止する場合に、復旧日時等を掲示した看板を設置した。
	・自動販売機を設置して欲しい。	近くの自動販売機を案内。
職員対応		
事業内容	・観察会等のチラシに地図等詳しい情報があると良い。	チラシの修正をした。
その他	・スズメバチに関すること。	注意を促し発見した場合は速やかに撤去した。

7 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。）

⇒該当なし

発生日	概要・対応状況等
月 日	該当なし
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

⇒該当なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			
月 日			

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 震災に伴う電力需給不足に対応するための節電に積極的に取り組み△15%以上の節電を実施できた。 植栽樹木の健康診断をタブレット端末 (iPad) を活用して、データベース化を図りながら実施した。また、他公園からも参加者を募り、研修も兼ねて調査を行うことで、植生の維持管理と保全に役立てた。 津久井治水センターが発注した自然環境調査の実施に向けた調整会議等を行い、市民を交えた調査を実施し、その結果を踏まえて自然環境の保全に配慮した維持管理手法を確立させる。
施設所管課	<p>今期は、東日本大震災に伴う夏期の電力不足への対応、9月には台風15号の強風による倒木被害への対応など、通常とは異なる事態に見舞われたが的確に対処された。特に倒木被害については、広い山林を抱えているため、その被害状況の把握や対応には相当の労力を要するが、速やかに対応したことは評価できる。</p> <p>植物管理業務を効率的に行う取り組みとしてのタブレット端末の利用や自然環境保全への取り組みも進みつつあり、今後もこれらの取り組みを進めていくことが望まれる。</p>